Form No. 3391-576 Rev A

サッチャー・キット

Greensmaster® 1000

モデル番号04109

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

この製品は関連するすべての欧州指令に適合しています。詳細についてはこの冊子の巻末にあるDOI適合宣誓書をご覧ください。

ベッドバーを取り外す

1. 芝刈り機を平らな床面に置き、エンジンを停止させる。
2. 点火プラグから高圧リード線を取り外す。
3. ベッドバーを取り外す。取り外し手順については芝刈り機の *オペレーターズマニュアル* を参照。

   注 サイドプレートからベッドバーアジャスタを外しても構いません。

© 2015—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3391-576 A

リールを取り外す

1. 芝刈り機からキャップスクリュ4本、ロックワッシャ4枚、リール駆動カバーを取り外す 図 1。

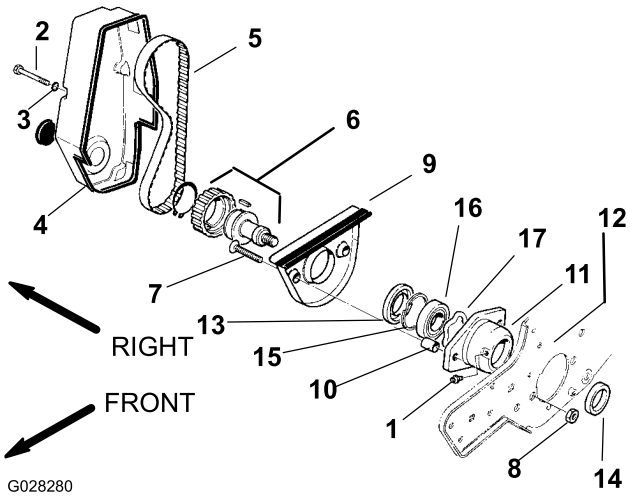


図 1

1. グリスフィッティング
2. キャップスクリュ
3. ロックワッシャ
4. リール駆動カバー
5. リール駆動ベルト
6. プーリ駆動アセンブリ
7. 平頭ねじ
8. ナット
9. グルーマアーム･カバー
10. カバー間座
11. 右側ベアリングハウジング
12. フレーム
13. 大きいシール
14. 小さいシール
15. リテーナリング
16. ベアリング
17. ウェーブワッシャ

2. プーリ駆動アセンブリからリール駆動ベルトを外す 図 1。

   重要 プーリ駆動アセンブリとリテーナリングは分解しないでください。

3. 左側ベアリングハウジングから両方のキャップスクリュ、ロックナット、ベアリングカバーを取り外す 図 2。

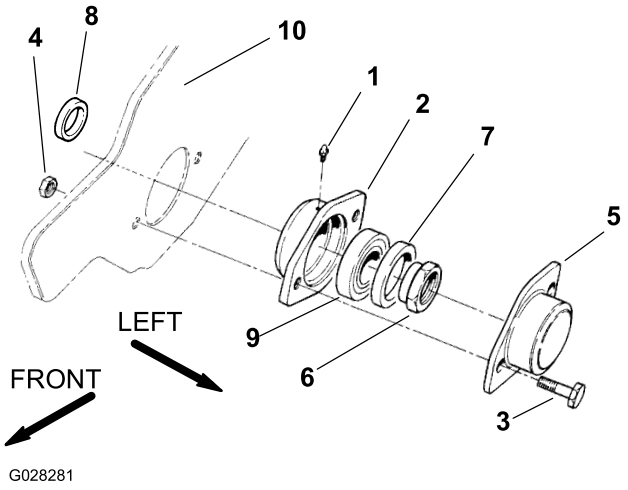


図 2

1. グリスフィッティング
2. 左側ベアリングハウジング
3. キャップスクリュ
4. ロックナット
5. ベアリングカバー
6. ベアリングロックナット
7. 大きいシール
8. 小さいシール
9. ベアリング
10. フレーム

4. プーリ駆動アセンブリ 図 1 に 1/2 インチのソケットレンチを入れてアセンブリをリール駆動シャフトから外す。この時にリール駆動シャフトからベアリングロックナット 図 2を外す。
5. 六角レンチを使って、ベアリングハウジングから、両方の平頭ねじ、グルーマアームカバー、両方のカバー間座を外す 図 1。
6. 両方のベアリングハウジングからグリスフィッティングを外す 図 1 と 図 2。
7. フレームとリールから両方のベアリングハウジングを引き出し 図 1 と 図 2 て芝刈り機からリールを取り外す。

新しいグラスシールドを取り付ける

1. グラスシールドを取り付けブラケットに固定している締め具を外してシールドを取り外す。

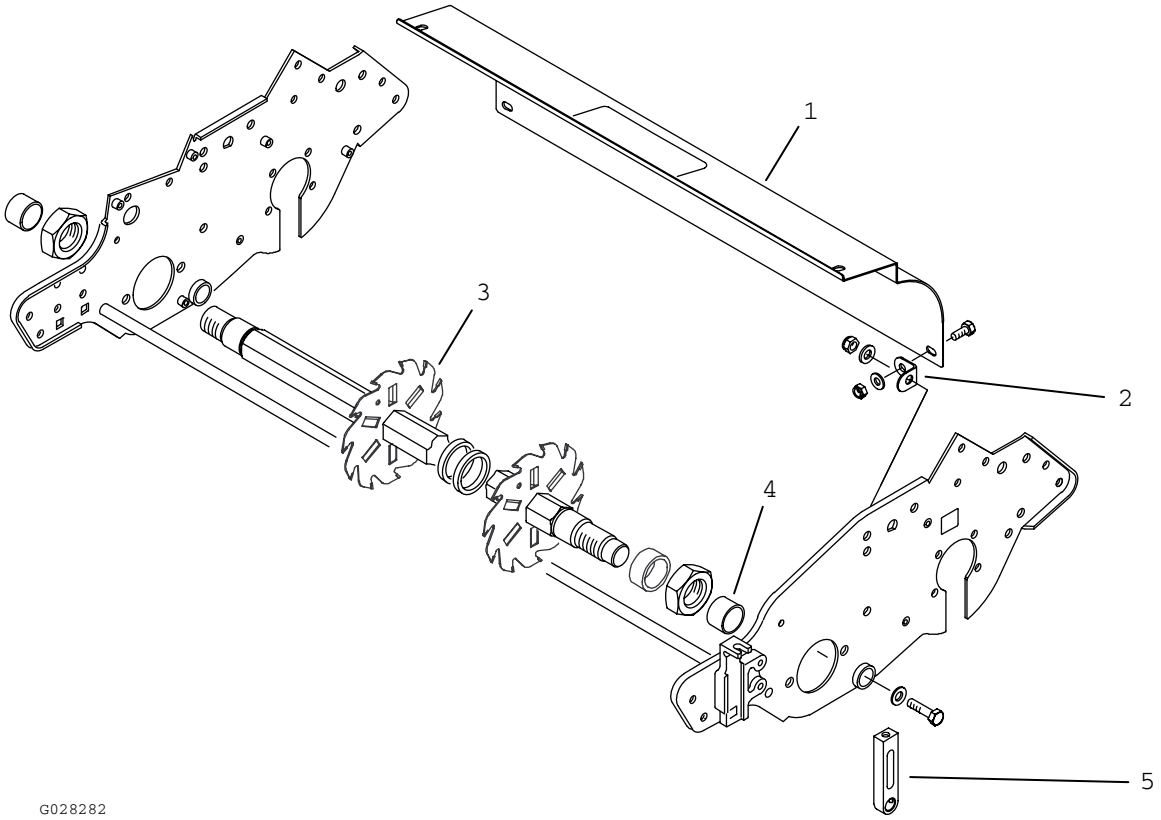


図 3

1. シールド
2. シールドブラケット
3. サッチャーアセンブリ
4. スペーサシール
5. 刈高アーム

2. 新しいグラスシールドの両端にシールドブラケットを仮止めするキャップスクリュ 5/8 インチ、平ワッシャ、ロックナットを使って 図 3のように取り付ける。
3. ベッドバーのピボット穴を通して、左右のサイドプレートにシールドブラケットを取り付けるキャップスクリュ 1–1/4 インチ、平ワッシャ 2枚、ロックナットを使って 図 3のように取り付ける。
4. 先ほど取り外した締結具を使用してグラスシールドの上部を取り付けブラケットに固定する。
5. シールドの全部の締結具を本締めする。

サッチャーリールを取り付ける

1. ベアリングハウジングを入れられるように、リールをフレームにセットする。

   注 雌ねじが切ってある側がフレームの右側に来るように取り付けてください。
2. リールシャフトの両端部にスペーサシールを取り付ける 図 3。
3. フレームを通して、リールシャフトに右側ベアリングハウジングを取り付ける 図 1。
   A. リールシャフトにベアリングハウジングを押し付ける。

      注 必要であれば、柔らかいハンマーでハウジングを軽くたたき込んでください。
   B. グリスフィッティングの穴が芝刈り機の前方を向くように取り付ける。
   C. ベアリングハウジングとフレームにグルーマアームカバーを取り付ける平頭ねじ 2本、カバー間座、ロックナットを使用する。

4. フレームを通して、リールシャフトに左側ベアリングハウジングを取り付ける 図 2。

   A. リールシャフトにベアリングハウジングを押し付ける。

      注 必要であれば、柔らかいハンマーでハウジングを軽くたたき込んでください。

   B. グリスフィッティングの穴が芝刈り機の前方を向くように取り付ける。

   C. ハウジングの穴をフレームの穴に合わせてキャップスクリュとロックナットを取り付ける。

      注 この時点では指締めにとどめてください。

5. 平頭ねじとナットを締め付けて右側ベアリングハウジングをフレームに固定する 図 1。
6. ベアリングロックナット 図 2 をリールシャフトに締め付けながら、プーリ駆動アセンブリ 図 1 をリールに締め付ける。アセンブリとナットを 68Nm 6.9kg.m = 50ft–lb にトルク締めする。
7. 左側ベアリングハウジングをフレームに固定している両方のキャップスクリュとナットを外す。
8. ベアリングカバーをハウジングにセットし、キャップスクリュとナットでフレームに固定する 図 2。
9. プーリ駆動アセンブリにリール駆動ベルトを取り付ける。
10. 芝刈り機にリール駆動カバーを取り付けるロックワッシャ 4枚 とキャップスクリュを使用する 図 1。
11. 両方のベアリングハウジングにグリスフィッティングを取り付け、リチウム系の汎用グリスを注入する 図 1 と 図 2。

新しい刈高アームを取り付ける モデル 04052 と 04055

1. 刈り高アームを刈り高ブラケットに固定しているロックナットを外す 図 4。

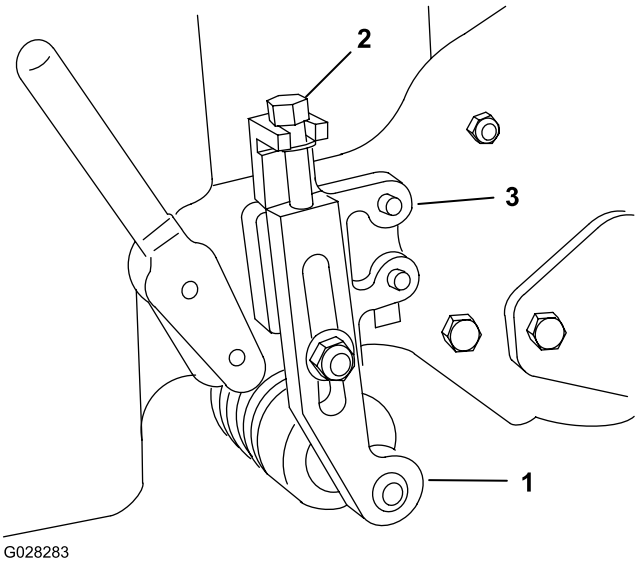


図 4

1. 刈高アーム
2. 調整ねじ
3. 刈高ブラケット

2. 刈高アームをローラから外す。
3. 刈高アームから調整ねじを外す 図 4。
4. 上記と逆の手順で新しい刈高アームを取り付ける。

運転操作

運転操作に慣れる

実際にグリーンの上でサッチャーユニットを使用する前に、希望する設定で希望通りの結果が出るかどうかテストをしてください。テストは障害物のない広い場所で行ってください。サッチングの仕上がり具合を見て必要に応じて微調整を行ってください。

ヒント

- サッチングはフルスロットルで行います。
- サッチング刃の最大深さ地表面への食い込み深さ設定は 16mm です。
- サッチングに必要な馬力は、ターフや土壌の状態によって異なります。条件によってはサッチング速度を落とす必要が出てきます。

保守

シャフトからのブレードの取り外し

1. シャフトについている 1–1/8 インチのナットを1つ外す。
2. シャフトからスペーサとブレードを順に取り外す。

   注 六角シャフトからブレードを外す時には、ブレードについている合印穴の位置に注意してください。この合印は、ブレードを組み付ける際に非常に重要となります。

   ⚠ 注意

   サッチングブレードは非常に鋭利にできており、バリなどが付いていると指を切る危険が高いから、ブレードを取り外す時には必ず丈夫な手袋を着用して注意深く作業すること。

3. ブレードを外し終わったら、六角シャフトをきれいに清掃し、ブレードの組み付けを容易にするためにシャフトの表面にグリスを薄くぬる。

   注 シャフトの両端部にはそれぞれ 3/4 インチのスペーサを取り付けてください。ブレードを個別に裏返して取り付けないでください。取り外しの際の順序を守ることが非常に重要です。組み付けるときにブレードを裏返したり、順序を変えたりしないでください。ブレードについている合印に注意してください。合印が六角シャフトの一面ずつずれ、全体がらせん状になるようにブレードを組んでください。

サッチャーブレードの組み付け

1. 3/4 インチのナットを1つシャフトに取り付けてから刃の組み付けを始める。

   注 ブレードについているフィンがシャフトの雌ねじ側を向くように取り付けてください。

2. スペーサ 1/4 インチ を2枚組み付ける。
3. 次のブレードは左回りにシャフトの一面分ずらして合印が面1つ分ずれるように取り付ける 図 5。この手順を繰り返して、全部のブレードとスペーサを組み付ける。

   注 正しく組みあがったリールはブレードの先端が順次ずれていくらせん構造になります。

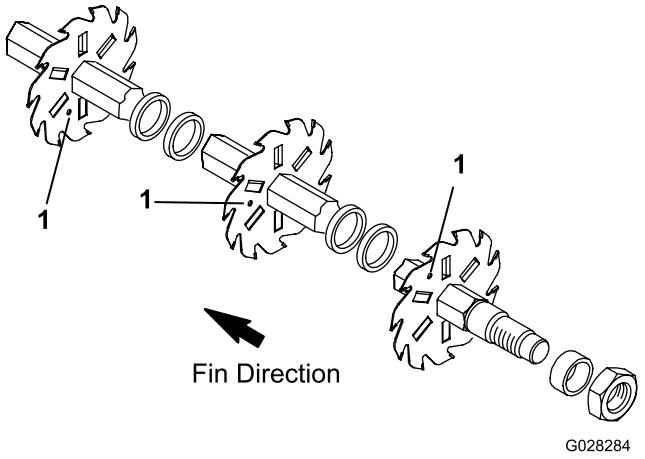


図 5

1. 合印

4. 1–1/8 インチのナットに青色ロクタイト #242 を塗りつけて 108135Nm 11.013.8kg.m = 80100ft–lb にトルク締めする。

オプションのサッチャーブレードの組み付け

1. 1/4 インチのスペーサを1つシャフトに取り付けてから刃の組み付けを始める。
2. スペーサ 1/4 インチ を2枚組み付ける。
3. 次のブレードは左回りにシャフトの一面分ずらして合印が面1つ分ずれるように取り付ける 図 6。この手順を繰り返して、全部のブレードとスペーサを組み付ける。

   注 正しく組みあがったリールはブレードの先端が順次ずれていくらせん構造になります。

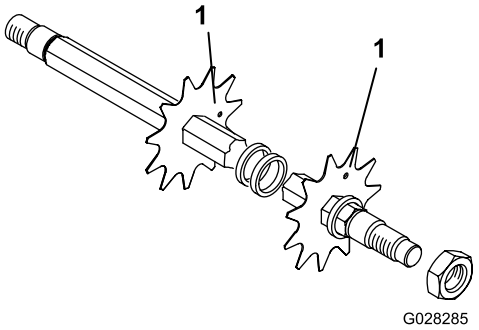


図 6

1. 合印

4. 1–1/8 インチのナットに青色ロクタイト #242 を塗りつけて 108135Nm 11.013.8kg.m = 80100ft–lb にトルク締めする。

摩耗したブレードを裏返して再使用するオプションのブレードでのみ可能

オプションのブレードでは、刃の前側が摩耗したら裏返して後ろ側を使うことができます。つまり、オプションのブレードは、一度リールから外して全部の刃を裏返して180°回転させて取り付けて再使用できます。

このようにして刃が前後とも摩耗してしまったら、研磨して刃を立ててください。

組み付け時には、全部の刃を180° 裏返して オプションのサッチャーブレードの組み付け (ページ 5)に示された手順で組み付けを行います。

重要 すり減っていない方の刃先からターフに食い込むように取り付けてください。

組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
04109	—	グリーンズマスター1000用 サッチャー・キット	DETHATCHING KIT - DYNABLADE GR 1000	サッチング・キット	2006/42/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み

David Klis
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
October 24, 2014

EU技術連絡先

Peter Tetteroo
Toro Europe NV
B-2260 Oevel-Westerloo
Belgium

Tel. 0032 14 562960
Fax 0032 14 581911



Count on it.